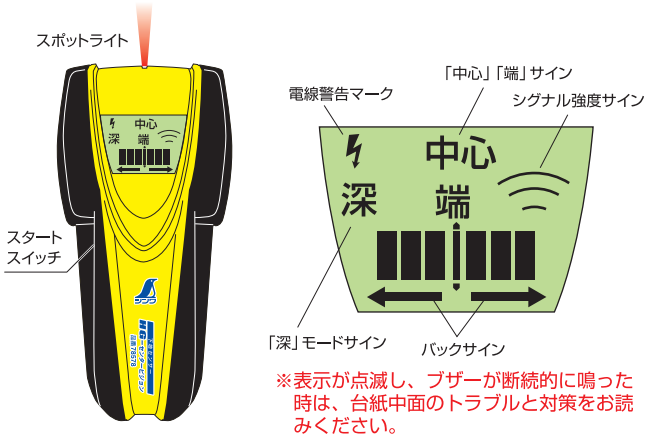
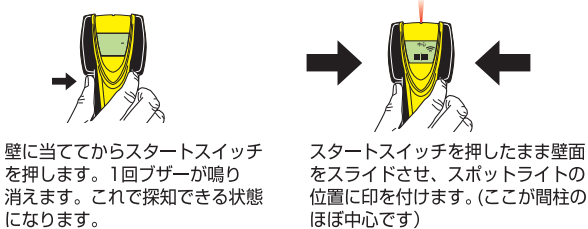


■各部の名称



■使用方法(概略)



壁に当ててからスタートスイッチを押します。1回ブザーが鳴り消えます。これで探知できる状態になります。

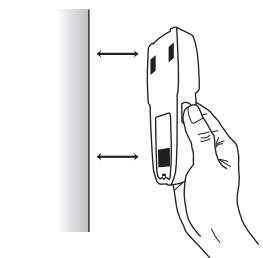
スタートスイッチを押したまま壁面をスライドさせ、スポットライトの位置に印を付けます。(ここが間柱のほぼ中心です)

注意

探知物検出深度には壁の厚み・壁密度・壁湿度の三つの主要素が関係してきます。次のような高密度、密度が一定でない材質、凹凸のある材質を通しての探知はできませんのでご注意ください。
・金属壁・コンクリート・ラス・セラミック床タイル・レンガ
・カーペット等の敷物・金属繊維を含む壁紙
・ペンキ塗りたてや壁紙貼りたてで壁が濡れている場合(乾くまで一週間以上かかる場合もあります) …など。
また、偶然柱の真上からスライドさせると探知できません。

■使用方法

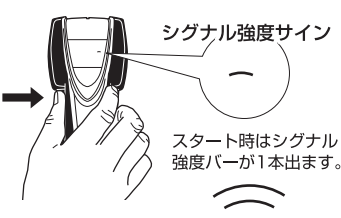
① 本体裏面を壁にピッタリと当てます。この時はスタートスイッチは押しません。



深モード

壁が厚く探知しにくい場合は深モードします。スタートスイッチを素早く2回押すと「深」という文字が出て、深モードになったことを表示します。(壁が薄い場合に深モードにすると、間柱以外のものに反応することがあります。)

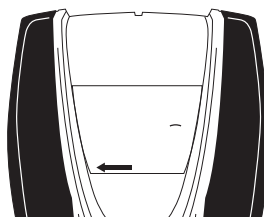
② 壁に当ててからスタートスイッチを押します。1回ブザーが鳴り消えます。これで探知できる状態になります。そのまま壁から離さずに右方向へスライドさせます。
※壁に当てる力は均一に。



間柱が近づくときバーが増えます。

※バックサインが出た場合(10mm以下の壁厚のみ)

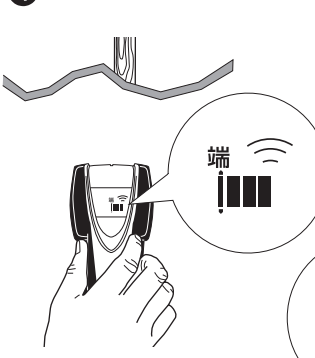
スタートを間柱の上で行った合図です。この位置でスタートスイッチをはなして電源を切り、再度スタートスイッチを押して先程のバックサイン(矢印)の方向に戻ってください。



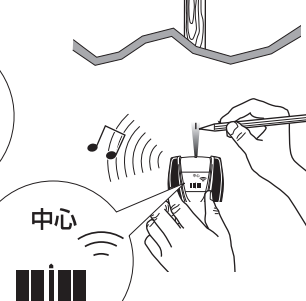
③ 壁の水平方向右側へゆっくりとスライドさせます。間柱等に近づくにつれ、液晶のバーが左右から順に表示されます。



④ 間柱の端で液晶に「端」とでます。

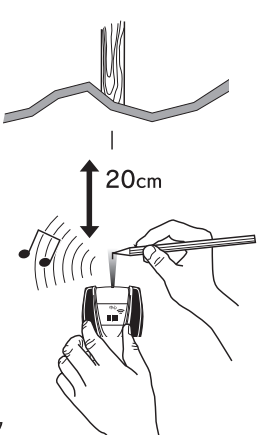


⑤ バーが中央までつながり、スポットライトが点灯し、ブザー音の鳴った所を鉛筆で薄く印を付けます。



⑥ 柱だけでなく電線ボックス等の別の物を探知する場合もあります。探知した物が縦方向の柱かどうか確認する為に、⑥で付けた印から約20cm下方でも①から⑥の方法で探知して、同じように反応する事を確認してから釘打ち等の作業をしてください。

注意
●柱がイメージできない時は、加工作業を行なわないでください。
●この製品では探知物の幅までは探知できません。あくまで間柱等の中心のみを探知します。



■電線警告機能

通電中の交流電流を察知すると電線警告マークを表示します。探知開始が通電中の電線上で行われた場合、電線警告マークは点滅します。

■トラブルと対策

状 況	考えられる原因	解 決 法
液晶表示が点滅を始め、ビッピビッと音が断続的に鳴る。	●壁内の密度の高い位置や柱等の真上から探知を開始した。 ●壁にピッタリ付いていない。 ●探知中に本体がぶれたり、壁から離れたりした。	●探知開始場所を左右どちらかに数cm移動させ、スイッチを押し直してもう一度探知を開始する。 ●表面の荒い壁などには厚紙などを当て、その上を本体が滑らかにスライドするようにする。 ●本体は必ず柱や探知物と平行になるように持ち、それらに直交するように移動する。
LEDが点灯する所が多過ぎる。	●間柱以外の物を検出している。 ●電気配線や金属製・プラスチック製の管が壁の裏面かその近くにある。 ●探知している壁材の密度が均一でない。主な原因として湿気・虫食い・気泡等が考えられる。	●これらが存在する可能性がある場合、壁・床・天井への釘打ち・切断・穴あけ等の作業は中止する。 ●探知した物が縦方向の柱かどうかを確認するには、印を付けた場所の上下20cmの所で同じように反応するか確認する。

※本機の巾(約60mm)以上の巾の下地の中心は探知できません。
※目印としての表示であり、正確な端や中心を示す訳ではありません。

■作動確認

反応に疑問を感じた時は、空中でスタートスイッチを入れ、手を裏面に当てます。この時にバーが中央までつながれば反応は正常です。



注意

●電気配線の近くの釘打ち・切断・穴あけ等の作業の際には、必ず電源(ブレーカー)を切ってから作業してください。
●壁裏の間柱を釘を打つ場合、掛けたり吊るしたりする物の重量に耐えられるかどうかを、事前によくご確認ください。

注意

●落下等の強い衝撃を与えますと故障しますのでご注意ください。
●使用しない時は電池を外して保管してください。入れっぱなしにしていると、液漏れする事があります。

■壁材と探知物及び探知物検出深度の早見表

壁材	ベニヤ板	石膏ボード	ALC板	コンクリート	モルタル	金属
探知物	○	○	○	○	○	○
通常モード	約19mm	約19mm	約19mm	約19mm	約19mm	約19mm
深モード	約25mm	約25mm	約25mm	約25mm	約25mm	約25mm

※数字は壁材表面から探知物を検出可能な深さの概略値です。
※ALC板とは、軽量気泡コンクリートの略です。
この製品は壁の材質や構造によって(特に湿気があると)正確に探知できない場合がありますので、ご了承ください。

■仕様

材 質	ABS樹脂
本体サイズ	159×78×34mm
製品質量	155g (電池含む)
電 源	9V アルカリ乾電池 1個

紙 台紙

スリーブ PET



お問い合わせ
シンワ お客様相談室
0120-666899
受付時間 (土日祝日除く)
AM8:30~PM5:00
輸入発売元
シンワ 測定株式会社
〒955-8577
新潟県三条市興野3-18-21
URL http://www.shinwasokutei.co.jp
MADE IN MEXICO